

案件名 武豊町地域福祉計画

募集期間 平成22年11月15日～平成22年12月15日

意見数 5件

第3章「地域の生活課題」の結論を明確に記載してください。

<旧>

第3章においては、町の総合計画及び分野別計画における行政の課題と、住民の皆さんからいただいた意見を集約し、第4章の「三つの基本施策」を設定しました。

<新>

第3章では、町の総合計画及び分野別計画における行政の課題と、住民の皆さんからいただいた意見を集約し、地域の生活課題を「キーワード」という形で整理しました。続く第4章では、この「キーワード」をもとに、各種施策を推進するための3つの柱である「基本目標」を設定しました。

第4章「地域福祉の推進」の施策に重要度や優先順位を追加し、具体的な内容となるよう見直してください。

取組事業の列挙件数が多すぎるので、共通・関連項目の集約をお願いします。

地域福祉計画は、保健・福祉など関連する分野別計画の基本的指針となる計画のため、具体的な内容については、今後、当計画をもとにした分野別計画で策定させていただきます。なお、作業部会において地域福祉全体に関わる総合的な取り組み案として掲げられた5つの提案については、優先課題として具体策を検討する予定です。

また、現行の取り組みについては、既存事業をできるだけ活用し、相互に連携充実を図ることが計画実現のために重要だと考え、できる限り紹介させていただきましたので、ご理解ください。

既存のボランティアが、どの施策で役立っているか、分かり易く一覧表にしてください。

ボランティアの皆さんは、地域福祉計画策定以前より、地域の福祉に対して大きな役割を果たしてこられました。

ご指摘いただきました施策との関連につきましては、現時点で一概に「このボランティアは、この施策」と結びつけることは難しい状況です。今後、具体的な取組みを検討していく中で、関係するボランティア団体との協力関係を築いていきたいと考えております。

地域福祉計画の普及・啓発については、行政・住民双方向が情報交換できる仕組みを追加してください。

住民からみた満足度評価を確実に実施することを、課題としてください。

計画の普及・啓発を行う際には、実際に自治区の関係者の方々や、各種団体の関係者の方々と膝を交えた話し合いを行うことにより、お互いの意見や情報を交換し、よりよい計画へ発展していきたいと考えています。

また、計画の評価・進捗管理の仕組みを充実させるためには、ご要望いただきました住民満足度も重要な指標だと考えますので、他の評価指標と合わせ、どのような評価方法が妥当であるか検討していきます。

住民同士の意見交換・情報伝達・助け合い等のため、常会もしくは隣組単位の集まりの場を設置してください。

「支え合う意識を育てる」ために、武豊町に下宿する大学生との交流活動や、定年になった人を地域で歓迎する「地域への再入学式」などの取り組みを提案します。

地域福祉を実現するためには、ご指摘いただいたとおり、自治区の皆さまはもちろん、大学生や定年を迎えられた住民のご協力についても必要不可欠だと思います。これらの方々には、現在も様々な形で関わっていただいておりますが、今後も一層の参加機会作りに取り組んでいきたいと思っております。

また、ご提案いただきました具体的な内容については、今後の取組を行う上で、参考にさせていただきたいと思っております。